



井上 八重子 議員 (ネット)

安心して子どもを産み育てられる環境整備について

①妊婦健診の14回の公費負担について、国の補助金等は区へどのような算定で支給されるのか。②出産育児一時金に加えて、出産にかかると費用の一部を区が負担しては。③医療依存度の高い子どもを持つ親への支援等を伺う。④医療の必要な重度重複障がい児への区の支援について伺う。⑤小児クリニックで医療依存度の高い子どもたちのデイサービスを行うことは。⑥障害者手帳のある・なしにかかわらず、生まれてから乳幼児期、学齢期と継続した支援が行われるように、子ども未来事業部が一貫した支援体系を構築する機能を持つべきでは。健康福祉事業部長 ①5回は既に財政調整交付金で措置されており、残りの9回分の経費について、2分の1を国庫補助、残りの2分の1が財調から一定の措置がされている。②国の社会保障審議会等の動向を見守る。③現状では、都や医療制度の中での対応が基本となっている。④医療との連携など、どのような条件整備が必要なのかを今後とも検討する。⑤まず安定した在宅生活を支えることが第一と考えているなど、今後の課題としたい。⑥障害者部門が障害児施策も担当してきており、子ども未来事業部の事

業とも連携させながら、今後現体制を進める。

障がい児の放課後支援について

①にじのひろばが実施されている施設について、階段やトイレ等の改善を。②ナイスデイサポートの利用者数は。③中高生の障がい児の放課後対策の必要性について、区の考えを伺う。④すまいるスクールの障がい児受け入れに対する課題等は。健康福祉事業部長 ①可能な改修について事業実施者と調整の上、実施する。②現在は、月に80名前後の利用がある。③事業の組み立てについて検討する。④障害児の事情は個々に異なり、その状況と成長・発達に応じた対応が求められることなどだ。

障がい児の在宅支援について

①親子サロンなど子育て支援メニューは、障がいのある子どもが利用できる環境が保障されているのか。②障がい児の在宅支援における居宅介護サービスの申請決定数等は。健康福祉事業部長 ①原則として障害の有無にかかわらず利用できる環境となっている。②各4月時点で、19年8

件、20年8件、21年13件等だ。

高齢者の住まいについて

①区内のひとり暮らしの高齢者について⑦男女比等は。①公的住宅に入居できる所得要件を満たしている人数は。②住宅確保要配慮者のために、情報提供を行うシステム構築の検討内容等は。③救急車を呼んだときに、必要な個人情報等を記入した書類をおさめるカプセルを高齢者に配布するなどしては。防災まちづくり事業部長

防災まちづくり事業部長

①70歳以上の男女比は住民基本台帳上、男性23%、女性77%だ。①住宅に困窮する方を募集する高齢者住宅への20年度の申込者数は152名だ。②国の施策等の動向を注視しながら区も施策を検討する。③本年度、65歳以上の高齢者のいる全世帯に対し「品川区の介護保険」の冊子を各戸配布したところだ。

市民の政治参加について

①議場の改修計画に防音設備つきの傍聴スペースの検討を。②区長が設置する審議会や委員会について⑦開催時間を柔軟に見直すことなどを提案する。①委員の議員枠を減らして市民の公募枠の拡大を。区長 ①まずは区議会において、一定の議論をしていた

きたいと考える。②⑦それぞれの審議会等で判断していただく事柄だと考える。①拡大は努力しているところだ。区民の代表である議員の持つ地域にかかわる知識等が、審議会の審議にとって重要だ。



山路 良成 議員 (公明)

環境対策について

①区の契約電気料金についての現状等を伺う。②電力監視ができる総合エネルギー計測管理システムを、区の全施設に導入するよう提案する。③電力データの「見える化」を促進させ、学校等での環境教育へ活用させることに考えは。④品川地区小中一貫校のCO2排出量を大幅に抑制できるよう、太陽光発電や地中熱利用設備等の大胆な設置や整備を。また、エコパークの概要は。本区の課題となっている校庭の芝生化の実現や緑のカーテンの設置を。⑤電気自動車、プラグイン・ハイブリッド車の普及、支援策は。⑥区独自の品川エコポイント制度について伺う。⑦太陽光発電設備設置工事費の助成が拡充されたが、応募の状況等は。⑧区民の太陽光発電パネルの購買意欲を促進する、新規の助成制度の創設などを。⑨しながら水族館に太陽光発電パネルや風力・水力発電を設置し、区民への啓発を。

企画部長 ①空調機を一時とめるなど、電気の使用調整により電気料金の抑制に努めている。②大規模施設では、変電設備に設置した警報信号を活用し、空調機等を調整して省エネに努めているなどだ。

高齢者が安心して暮らせる住宅について

③児童・生徒がデータの意味を理解しやすいという効果がある。④壁面緑化、校庭の芝生化、太陽光発電装置の設置や地中熱を利用した温水プールの設置等を予定している。また、太陽光発電や地熱等の自然エネルギーをパネル表示するなど、環境教育の実地の場としてエコパークを設置する。区長 ⑤市場動向等を検証し、可能な支援策を引き続き検討する。⑥今回、国がグリーン家電製品購入に伴うエコポイント制度を始め、品川区の商店街の商品券をポイント交換商品として認めたので、区もPR等の準備に対する支援を検討するなどだ。⑦今年度の工事の応募状況は17件だ。⑧国等の動向を見据えながら、導入促進策を検討する。⑨今後とも、環境に配慮した施設運営や啓発活動を進める。

①区の単身用高齢者住宅について⑦条例には管理人を置くことであるが、管理人の役割等を伺う。①空き部屋が発生したときに、そこに看護師を配置するなど、訪問介護の拠点として居住者への介護サービスを提供等しては。②都営大井町アパルト跡地への住宅の建設について⑦本施設の入

居条件や家賃等を早目に区民にお知らせすることを提案する。①併設して住み替え住宅40戸が建設される予定だが、対象者のニーズは把握しているのか。③住情報センターのあり方が検討されているが、官民の役割分担等の整理について伺う。④住み替えのための住宅コーディネーター機能を提供するために、宅地建物取引業協会等の専門組織と早急な検討の開始を。

高齢者安心コールセンター事業の実施について

健康福祉事業部長 ①⑦建設型、借り上げ型ともに管理人を置き、居住者の安全確認や緊急時の応急救護を行って

いるなどだ。①高齢者住宅の入居希望者は多数おり、空き待ちをしているため、理解が得られないと考える。②⑦工事費等が確定した後、それぞれ精査し、まとまった段階で

お知らせする。防災まちづくり事業部長 ①アンケート等を実施し、その結果を建設計画に反映する。③今年度は、民間市場にゆだねる部分と区として行うことを整理し、センターの機能の骨子をまとめていきたい。④関連機関とも協議をし、その役割や担い手等を研究する。

健康福祉事業部長

①都は4月から高齢者あんしんコールセンター事業をスタートしたが、区でも早期に実施を。健康福祉事業部長 ①区では、自立高齢者の緊急事態については、民間受信センター方式の緊急通報システム事業に対応しているなどだ。

採択されて区長に送られた陳情についての報告

区議会で採択し、区長に報告を求めた陳情について、次のとおり報告があったので、お知らせいたします。

生涯学習課スポーツ係の業務改善に関する陳情

身体障害者がスポーツ施設を利用する際の案内情報に不足があるので、改善を求める。案内冊子に地図や駐車スペースの情報を掲載し、内容の充実を図るなど利便性の向上を図ってまいります。

生涯学習課スポーツ係の業務改善に関する陳情

公園運動施設予約システムがわかりにくいので、改善をしてほしい。予約受付センター業務委託会社に業務執行体制の再点検を指示するなど、区民の皆様が施設を快適に利用できるような改善に努めてまいります。